

令和7年 第2回全員協議会会議録

令和7年2月17日 議員控室

○事 件

町長報告事項

(1) 令和7年度予算概要について (財務課)

○出席議員 (12名)

議長	千 葉 隆 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	赤 井 睦 美 君		佐 藤 智 子 君
	大久保 建 一 君		関 口 正 博 君
	宮 本 雅 晴 君		倉 地 清 子 君
	三 澤 公 雄 君		牧 野 仁 君
	安 藤 辰 行 君		斎 藤 實 君

○欠席議員 (2名)

横 田 喜世志 君	能登谷 正 人 君
-----------	-----------

○出席説明員 (5名)

町長	岩 村 克 詔 君	副町長	成 田 耕 治 君
財務課長	川 崎 芳 則 君	財務課長補佐	南 川 達 哉 君
財政係長	松 田 教 子 君		

○出席事務局職員

事務局長	野 口 義 人 君	事務局次長	成 田 真 介 君
庶務係長	千 代 貴 大 君		

◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） それでは、令和7年第2回全員協議会を開催いたします。

◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） それでは早速、町長報告事項として、令和7年度予算概要についてご報告をお願いいたします。

○財務課長（川崎芳則君） 議長、財務課長。

○議長（千葉 隆君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） それでは、令和7年度予算につきまして、3月6日開会予定の第1回定例会での予算審議を控えておりますが、その概要がまとまりましたので、担当補佐からご説明させていただきます。

○財務課長補佐（南川達也君） 議長、財務課長補佐。

○議長（千葉 隆君） 財務課長補佐。

○財務課長補佐（南川達也君） それでは、令和7年度予算概要につきまして、特徴的な事項を中心に説明させていただきます。

資料の1ページをご覧ください。資料の1ページは、八雲町の各会計予算の規模を表に示したものであります。

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた全会計の予算規模は、316億2,784万8千円で、前年度対比18億8,677万3千円、5.6%の減であります。

一般会計の予算規模は155億2,300万円で、前年度比10億円6.1%の減でございます。

続きまして、2ページをご覧くださいと思います。上段が一般会計歳入内訳、下段が歳出性質別内訳でございます。

まず上段の歳入の特徴的な事項としまして、町税は、20億1,165万2千円で、過去の実績及び地域経済の動向を勘案し、前年度対比2,477万6千円1.2%の増でございます。

続きまして中断あたりにございます地方交付税は、地方財政計画を考慮し52億4,730万4千円で、前年度対比4,399万円0.8%の増であります。

また、交付税振替財源として発行されておりました臨時財政対策債は、平成13年度の制度創設以来、初めて発行額がゼロとなりました。昨年は臨時財政対策債の発行がありましたので、昨年の臨時財政対策を含めた実質的な地方交付税と比較しまして2,689万円0.5%の増であります。

続きまして国庫支出金は前年度対比2.8%増の9億9,420万5千円、道支出金は前年度対比3.3%増の7億7,135万3千円で、各種施策事業の執行予算に対応した計上であります。

繰入金につきまして、内訳といたしまして、ふるさと応援基金28億6,191万7千円、森林環境譲与税基金3,223万3千円のほか、財源不足に対応するため、財政調整基金2億5千万円、合計で31億4,415万円の繰入であります。

町債については3億4,920万円で北海道新幹線駅整備事業をはじめ、道路橋長寿命化事業などの普通建設事業に対応し、前年度対比7億3,160万円、67.7%の減でございます。

続きまして歳出に移らせていただきます。表は下段でございます。

人件費は、人事院勧告による給与改定などから前年度対比 8.9%増の 27 億 6,793 万 4 千円、物件費は、電気料、燃料費などの価格高騰によるもの及び電算関係事業などから、前年度対比 2.5%増の 27 億 4,584 万 1 千円、維持補修費は、八雲運動公園整備事業の完了などから、前年度対比 3.0%減の 3 億 4,033 万 4 千円、扶助費は、児童手当の給付対象範囲の拡大や障がい者自立支援給付費などから、前年度対比 10.9%増の 17 億 9,919 万 4 千円、補助費等につきましては、令和 6 年度に企業会計へ移行した下水道事業会計などの資金不足に対応していたことから、前年度対比 6.0%減の 23 億 3,709 万 6 千円でございます。

普通建設事業は、令和 7 年度においては北海道新幹線駅整備事業のほか、道路長寿命化事業などがありますが、関内地域会館整備事業などが令和 6 年度で事業終了となったほか、継続事業であります新役場庁舎等整備事業が補正予算の対応となることから、前年度対比 62.6%減の 8 億 4,799 万 7 千円であります。

投資及び出資金は、病院事業会計、下水道事業会計などの企業会計への繰出金などにより、前年度対比 35.4%増の 4 億 8,253 万 6 千円でございます。

病院事業に対する繰出金は、性質上、補助費等と投資及び出資金に含まれており、総合病院へは元利償還金などの増により前年度対比 1 億 2,121 万 6 千円の増で 12 億 8,348 万 1 千円、国保病院へは元利償還金などの増や資金不足に伴う基準外での繰入により前年度対比 1 億 3,380 万 7 千円の増で 3 億 6,131 万 8 千円、合計で 16 億 4,479 万 9 千円であります。

続きまして、3 ページをお開き願いたいと思います。3 ページは歳出目的別内訳でございます。ただ今ご説明いたしました歳出性質別経費を款ごとに整理し、前年度との比較を表にしたものでございます。

総務費が大きく減になっております。それと商工費の増につきましては、令和 7 年度よりふるさと応援寄付金奨励事業を移行したことによる増減となっております。

続きまして 4 ページから 9 ページにつきましては、令和 7 年度の主要事業として、表にまとめておりますので、ご参照願いたいと思います。

続きまして、10 ページをご覧願いたいと思います。10 ページは八雲町の財政状況でございます。

平成 29 年度から令和 5 年度までは決算による財政推移、令和 6 年度・令和 7 年度については当初予算における財政推移を参考までに添付をしております。

下段の基金残高の推移であります。令和 6 年度末の基金残高は 131 億 3,500 万円、令和 7 年度末では 115 億 500 万円を見込んだところですが、令和 6 年度の決算状況や令和 7 年度の予算執行状況により変動することが見込まれるところでございます。

最後になりますが、連結する全会計における需要は年々変化しており、それらを踏まえ、改めて財政試算を行うこととしてございます。

つきましては、3 月定例会に向けて中期的財政試算をお示ししたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（千葉 隆君） それでは今財務課のほうから令和 7 年度予算概要についてご説明をいただきましたが、皆さんのほうから何か質疑等ございましたら受けて行きたいと思いますが、何かございませんか。

主要事業の部分で、大きな新規事業とか各委員会に報告していると思いますが、特にそのほかで何かあれば。なければそれはそれで。

○財務課長（川崎芳則君） 議長、財務課長。

○議長（千葉 隆君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） 7年度の新規事業っていう部分ですが、（聞き取り不能）7年度予算については町長選挙を控えてるということで骨格予算ということで位置づけしています。各課から新しい事業として報告している部分とちょっと重複するかもしれませんが、まず令和7年度においては、合併してから20周年が経つということで開庁20周年記念事業を予算計上しております。

これは各●●やそういったところにも影響するんですが、継続的にやっている事業を20周年記念事業として行う部分と、新しく総務費のほうで開庁20周年記念事業ということで式典を開催する予定で予算計上しています。

そのほか総務費のほうでは地域会館整備費補助事業、こちらのほうは委員会のほうでも報告させていただいていると思いますが、地域会館での備品購入費の一部を補助するものです。

あと防災関係ではですね、八雲防災フェスタ開催事業ということで、こちらのほうは報告している部分が定かではありませんが、家族等で防災について楽しみながら学ぶことができるイベントや防災備品等の展示を実施するという事です。このほかデジタル防災サービスLINE型導入事業、こちらはLINEにですね、デジタル防災サービスを導入して新たな情報発信をしていく事業です。

あともう一つ、これは庁舎の内部的な部分ですが、新しい庁舎へ向けてフリーアドレス、席を固定しないでフリーアドレスにするという部分を踏まえて、今まであった固定電話をスマートフォンに各職員に一台ずつスマートフォンを導入するという事業を総務費のほうで計上しております。

6ページになりますが、衛生費、春日地区水道施設整備事業、こちらは春日の新幹線新駅の開業を控えてまずは水道事業の認可変更と実施設計、新たな新しい●●、実施設計業務を計上しております。

ただ、新幹線の開業が5年ほど、5年以上は遅れるということで、まずは認可が必要だつてことで7年度に予算計上しておりますが、そのあとの工事については開業に見据えてスケジュールを立てていくと考えております。

あとは継続的な部分を種苗生産施設やウイスキー蒸留所やあと8ページになりますが、教育費になります。令和2年度に小学校と中学校にGIGAスクールネットワーク事業ということで、パソコンを子どもたちに配布しましたが、その更新が5年を経過するというので、この更新に8,200万円程度計上しております。

おおまかにはですね、そういった部分かなというふうに思います。よろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 今のご報告も含めて、皆さんのほうから。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 今、地域会館で備品購入費補助っていうのは説明されましたけれども、昨年ですかね、私栄浜ですが、町内会のほうで会館のリフォームをやる場合にも補助が出るとかっていうのを確か町長が言ってくれたって記憶があるんですが、そういうのは想定されていないんでしょうか。

○財務課長（川崎芳則君） 議長、財務課長。

○議長（千葉 隆君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） 今回の7年度に計上している部分は、あくまでも備品に係る部分ですので、リフォームについては対象外ということです。よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 整備事業のほうは。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 町長、そういう発言したの覚えていますか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 覚えています。

ただ今言ったとおり、備品と修繕ってというのは別なことで、修繕が要望があったらまた地域のいろんな意見を聞きながら、全部すべてを一回にやるってことだとか、みんなが頼まれていませんが、順番的にいろいろ考えながら、それは修繕やっていくとなっています。ただ、今は全く備品ですので、別なことでとらえてください。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） かつこつけて質問しましたが別なところだっというのはわかりました。

それでなんか見積もりも出して要望するみたいなことも言っていますので、一応発言しておきますので。失礼しました。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） それは通常栄浜ばかりではなくていろんな会館から修繕だとかいろんなものが来ると思っていますので、それは対応してまいりたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

いずれにしても予算委員会ありますので、その場でそれでは皆さん活発な議論をしていただきたいと思います。

それでは令和7年度予算概要についてはこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

◎ 報告事項

○議長（千葉 隆君） それでは4番の報告事項（1）議員報酬の改正についてを議題としたいと存じます。

これについて議運の委員長さんのほうから、せんだての議運のほうである程度素案的な部分を議論して、皆さんの全体での協議に入りたいと思いますが、早速議運の委員長さんからご報告よろしくをお願いいたします。

○議員（三澤公雄君） 先日、議会運営委員会を開きまして、各会派から集まった意見の調整をいたしました。若干割れてはいましたが、話し合った結果、算定式で表したように議員報酬を上げるということで、議運の中では合意ができました。以上です。

○議長（千葉 隆君） 皆さんのほうからこの件について、何かご質問はありませんか。

事務局長からどうぞ。

○議会事務局長（野口義人君） 今、議運の委員長がお話したとおり、先週の金曜日議運の中では検討結果として③が選定されたところでございます。私このその後の経過を改めて振り返った中で、去年の8月からですね、議員報酬の改正について議運の中で話し合いが再開されて、全協でも説明しながら最終的には町のほうに諮問をお願いしたという経過でございました。

ただしその後に財政状況の試算の説明を受けてですね、ふるさと納税の影響で歳入が大幅に減収するという報告を受けた中で議員報酬も現状のままを進めることが非常に●●が必要ではないかという雰囲気も委員さんの中で一応出ていたというのをくみ取って、実際に12月の報酬の審議会の説明の中でも私のほうから議員報酬についてはこういう財政状況も鑑みながら議員さんのほうとしては改正は行うが一定程度の期間、減額も考えているということを私の口から説明しておりました。昨今、浜の状況ですね、今後のホタテの水揚げの状況とか、ふるさと納税の7年度8年度の一応推移を考えた中では、まだまだ不安定要素が相当強いのかなと感じ取っておりますので、事務局サイドとしてはこの結果を踏まえて資料の改正案②に、改正は審議会の結果を受けて改正は行いますが、財政の背景状況見た中では1年ごとの更新ということで、今回減額を措置した中で進めていったほうが町民にも理解が得られるのかなと思っております。

ただこれをずっとこのまま減額するのではなくて、1年ごとに見極めた中で経過措置は解除するタイミングを見計らったほうがよるしいのかなということで事務局から一言だけ一応再考していたきたいということでお話したいと思います。以上です。

○議長（千葉 隆君） そういったお話がありますが、いずれにしてもこのことについては議会報告会なりで町民の皆さんにも報告していかなければならないわけですから、その素案として議運では11月の改正からでございますよということが多かったんですが、どうでしょうか。

○議員（佐藤智子君） 質問良いですか。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 今手元に議員報酬の改正については、条例改正を行わなければならないということですが、議会報告会でも話し合ってからそういう改正を行うってことなんでしょうか。

○議長（千葉 隆君） 議運に出ているから佐藤さんもわかるように、9月の定例会で条例改正の手続きをするって運びになるっていうふうに前提としてはあると思います。

だから、いずれにしても議会報告会を経てそののちに最終的に議会議員提案で提出をするということになると思います。今の段階としては、議会報告会にどうかたちで説明するかってことなんでしょうね。それを踏まえてまた変更になるかもしれないし、そのまま行くかもしれないって部分もあると思いますが。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 今局長が説明してくれたのは、賢明な提案というか説明だったなと思いますが、減額って意味がちょっと簡単に呑み込めないっていうか、町民に対して説明するときですね、引き上げますって条例改正をするけれども、減額ってというのは1年更新とかを言われていましたが、数字上上げるけれども、減額って平でいったら24万3千円だけれども、それを1年ごと

にそれを今の金額を据え置くってちょっと言葉が違うかもしれませんが、そういう意味でとってもいいんですね。減額って。

○議長（千葉 隆君） 私が今ここで佐藤さんにそのことを説明するっていうよりも、佐藤さんが議会運営委員会で決めたことですから、逆に言えば説明責任は佐藤さんにあると思うんだけど。

私は委員外議員として出席してるから。

○議員（佐藤智子君） 答えるのは議長じゃなくていい。

○議長（千葉 隆君） そうではなくて。そういう議論も含めて、わからなかったらあれだけでも、要は1年間凍結するってことで説明したほうがいいと思う。現行の水準を1年間凍結しますと。それで、それを文書で表現するのに増額分を減額して支給するという表現だって。

要するに、今のまま1年間いきますと。中身は。それで、1年経ったときにまた判断もできるし、継続することもできるし、それから改正案をするかもしれないってことで、1年ごとって。とりあえず1年は現行のままでいきますと。高くするってことを決めたわけだから。

だから、現行通りいくためには高くした分を下げるって部分を不足で謳っていますよって。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 決めたのは議運の中だけであって、本会議にもかかってないから決めたって表現はちょっと違うと思うんですけども。

○議長（千葉 隆君） ここに持ってくるまでに。

○議員（佐藤智子君） だから、少数意見の留保ってことで私は反対の立場だから今通ってるんだけど、今言った1年間っていうのは令和7年の11月から令和8年の10月までって1年でっていいんですか。

○議長（千葉 隆君） それは佐藤さんも議運の委員会に出ていますから、1年ということではなくて、とりあえず令和7年11月からその何年までっていうのは空白のまま提示されて1年間や2年間ってことは議会運営委員会の中では議論がなかったと記憶しています。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） だから今聞いてるでしょ。もうちょっと広い範囲で話を聞いてるんだから。

○議長（千葉 隆君） だから、これからのことを聞いてるのか、議運での中身を聞いてるのか。

○議員（佐藤智子君） これからのことを聞いています。

○議長（千葉 隆君） これからのことはまだ意見を皆さんが言えばそれに基づいて。

○議員（斎藤 實君） 議運でどこまで話をしているの。

○議員（佐藤智子君） 議長が言った1年を。

○議長（千葉 隆君） 俺は言ってないでしょ。議会事務局長が例えばの、議会の議員報酬審議会の中で議会事務局長が説明している部分での話で1年ってことをお話をしてるってこと。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 局長に聞きますが、今言った1年っていうのは何月から何月までの1年ですか。

○議会事務局長（野口義人君） 議長、局長。

○議長（千葉 隆君） 局長。

○議会事務局長（野口義人君） 資料の改正案2に条例の改正案のうたい方記載しておりますが、これは例えばのケースで、令和7年11月から令和8年10月までの議員報酬の月額はこの削減額を控除した中で支給するという改正案の案としての内容でございます。

それで、皆さんの任期を考えると4年という任期がございますので、中途半端な年数には設定できないのかなと判断されますので、1年か2年か4年と。

だから、3年を選択した場合は改選期をまたぐということになるので、できれば1年か2年か4年がベストかなということで考えております。

○議長（千葉 隆君） いいですよではなくて、逆に今そういうことも踏まえて意見はないんですか、そしたら。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 議運のときの意見と変わりませんが、この減額っていうのは町長が減額をしたら議員も減額するって意味の減額ではないってことなんですね。

○議長（千葉 隆君） だからそれは、原価方式で町長の報酬に合わせるとしたら改正を上げないとならない。

だから今現在、この減額するってことになると町長はそのまま議員だけ減額するって状況になるってことでの減額の提案。事例っていうか事案です。普通であれば上げないとならない。けども、この改正案②っていうのは財政状況を見て議員だけまずは議員の部分は自ら少し状況を見て減額するって。独自削減しますって。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（千葉 隆君） 副議長。

○議員（黒島竹満君） 今の説明からいくと、一回上げることで条例を改正して、そして状況を見ながら予算の状況を見ながら減額っていうのは上がった分を減額する方向もあるよってことでしょ。

○議会事務局長（野口義人君） 議長、局長。

○議長（千葉 隆君） 局長。

○議会事務局長（野口義人君） 今副議長がおっしゃったとおり、たまたま私が書いた額は今回改正で上がる額をそのまま削減してはどうでしょうかって改正案②なので、その幅をこの半分にするとか、それぞれ1万円にするとか、それは議員さんの話し合いによって結果を出していただけたらと思いますが、参考までに今現状で条例改正を行って上げますと。

ただし、この先1年間、もしくは2年間、4年間については財政状況が不安定要素が強いので削減しますって二段構えの条例改正を考えております。改正案②では。

○議員（黒島竹満君） 佐藤さん、わかった。

○議員（佐藤智子君） わかった。

○議員（黒島竹満君） それならいいと思う。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 私も議運で発言したんですが、ルールを自分たちで決めたから、ルールをきちんと守ってなんか増額するっていうと値上げしてるみたいだけれども、町長じゃないけど増額

じゃないんだと。元に戻しているだけだと同じで、ルールを守ってるってことでこの金額がアップするってことは反対ではないですけども、やはりさつき局長もおっしゃりましたが、財政の収入もあるけれども、一般町民の生活を見たときに、年金もあるけれども、物価はそれ以上に上がっているだとかそういうことをいろいろ考えるとやっぱり議員だけが上がっているように見える。

本当は、ルールにのっとってきちんとやっているって説明はできるけれども、でもこんなにもらっているって町民感覚はすごくあると思うので、そういう面では皆さんの生活を考えたうえで、改正案②がいいなと思って発言しました。ただ本当に少数意見の留保で、報告会でそういうことをちゃんと伝えられたらいいなと思います。以上です。

○議長（千葉 隆君） 報酬審議会の部分でやっぱりその時点では直前にふるさと納税の状況が相当数減額の状況ですよ。それで、最終的にも去年の部分からするとやっぱり相当19億だとか20億にいたってないから、去年が30億だから10億少ないよって現状は把握しておかなければならない。

ただし、今去年と同等の原材料を確保している状況が次年度になるから今年度と同じような状況は免れてるっていうか、現状としてはないですって部分も報告は受ける状況。

ただ、今年のやはり浜の状況が2年続けてなる状況なのか、どの程度回復していくのかって状況がまだ今の2月の段階では、5月6月くらいになるとある程度、そこが見えてこないからなかなか難しい判断しないとならないということで、もう少しこの部分を町民の皆さんに説明するときには、改正することは改正するけれども、②案も視野にして、ある程度8月なら8月とか、7月なら7月に状況が回復するような状況であればとか、現状よりも悪くなった部分については②案も検討しながら最終判断するとかということもあってもいいかなって部分もあるし、皆さんが議運で決めたとおり、そのままやるって町民に説明するときね、どちらのほうがいいですかね。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保議員。

○議員（大久保健一君） 議会運営委員会でも発言したんだけど、改めてちょっと思うんですけども、前回我々が町長報酬を基準に一つの基準を作って、我々の議員報酬を決めた。前回、30何年上がってなかったんですもんね。我々選挙で審判を受ける人間ですので、町民の顔色を覗いながら気にするわけです。それは当然だと思います。

だけど、そういうことをずっと続けた結果、職員給与との比較、町長報酬との比較、それらが全部おかしくなって議員のなり手不足は全国的に起きている。そういうことを解消しようってことで前回上げたはずですよ。

なのに、またこれを繰り返すのかってちょっとあきれを感じる感じですね。やっぱり正当に仕事に対する報酬っていうのは貰うべきだし、私は会社やっているので支払うべきだし。そう思うというか、そうあるべきだと思うんです。町民に見られるからどうだとかこうだとかって話ではないと思うんですよ。だから1年でもこうやっていったら欲深いやつだと思われるかもしれませんが、自分たちで決めたことは自分たちで守りませんか。財政の長期の予想を立てられて一回目のときは厳しい予想だと思って私も一般質問の中でもそういう場合は一度条例としてきちんと上げるけれども、減額もやむなしと書いていたんです。

だけど最近この決算を迎える近くになってきた、今の財政の試算の説明でも長期は示されていませんが特段厳しいって説明もないですし、町長の報酬を減額するって話もない。それであれば、我々

もちゃんと正々堂々と上げませんか。それでその仕事に見合った働きをしませんか。私はそう思うんです。

みんなの生活が厳しいからっていうのは当然です、それは。だけど、我々も何十年とそういう町民の目を気にして上げてきていないってことを反省しないとならないと思うんです。我々の給料を上げるだけではなくて、これから議員になるなり手を作っていく議会を築き上げていかないとならない立場だと思うんです。そこら辺忘れないとならないと思う。自分たちの給料を決めてるわけではない。もしかしたら次に辞める人もいるかもしれない、出ない人もいるかもしれない、また出る人もいるかもしれない。新規に立候補する人がいるかもしれない。けどこの議会っていうのは必要な組織であるから、それが継続されていくために、その議員を生み出すために私はきちんと正々堂々と上げるべきだと思うんですけれどもね。以上です。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（千葉 隆君） 副議長。

○議員（黒島竹満君） 今、大久保議員が言ったのはですね、一回改正をするって話でしょ、だから一回改正したあとに財政状況を見て減額もあり得るって一項目を入れておくって話。

○議員（大久保健一君） それならいいと思う。

○議員（黒島竹満君） そういう話を今局長が言ってるんだよ。だから一回改正して俺は自分で局長の話を聞いたところで自分の判断ではそういうふうにとったけれども、だから一回は改正する。そのあとに新規で新しい議員たちが出てきて、減額するかどうかっていうのは検討すればいいんじゃないのってことで一項目入れておいたほうが説明会でもなんでも説明しやすいんじゃないかなって思うから、そちのほうがいいんじゃないかって。

○議員（大久保健一君） 副議長の説明を否定しているんじゃないで、意見も否定しているのではなくて、ただ今までの議論を聞いて私の意見を言っただけ。

○議員（黒島竹満君） だから一回は改正するっていうことでしょ。

○議会事務局長（野口義人君） 改正はしますけど、以降また引き続き削減しますって。

○議員（黒島竹満君） だからそれは財政状況を見ながら改正もあるってことでしょ。

○議会事務局長（野口義人君） ではなくていきなり。

○議長（千葉 隆君） 今年の11月以降一定期間現行の水準でやって、いつ上げるかはそれ以降に決めますって。

○議員（黒島竹満君） 俺上げて上げた分を減額でまた協議するのかなっていうふうに捉えていたんだけど。

○議長（千葉 隆君） そうじゃないんだわ。

○議会事務局長（野口義人君） 上げるけれども同時に下げますと。経過措置の中で。ただ、条例上は改正していますので、たとえばこの議長だと37万8千円は第2条の金額として出てくるんだけれども、不測の経過観察の中で1年間については37万8千円から3万8千円を差し引いた額を支給額として報酬出しますってことになります。

○議員（黒島竹満君） それだったら財政状況わからないでしょ。

○議会事務局長（野口義人君） わからないので、1年ごとの財政の町税の部分を見たり、ふるさと納税の状況を見て来年の10月から上げられるねっていう状況だったらその経過措置を解除しますという流れです。

○議員（黒島竹満君） わかりました。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤議員。

○議員（斎藤 實君） 先ほど大久保さんが言った意見、僕も先日副議長と話をしたんです。なぜ町長が上げたときに議会のルールとちゃんと決めたわけだから、その時点で上げてしまえばそんなに問題がないでしょと。その代わり先ほど議長が言ったように財政の状況がどうだとかって言うなら逆にその分何パーセントか削りますって、そういうやり方のほうが良く見えると思うんです。それを結果的に改選期までってこうやってぼつたらおそらく上げれないと思いますよ。そしたら、せっかく決めたルールが戻ってしまう状況になるんじゃないのって。この前お茶飲んでいたときに副議長とそんな話をしていました。

だから、きちんとやるときはやりましょうと。その代わり財政の調子が悪くなったら何パーセント削減しましょうと。そういうメリハリ、議会としてのメリハリ●●はあるんじゃないかなと思うんですね。

○議長（千葉 隆君） だから、町長の報酬上がるときに、議運にも一緒に上げないって話はしたんだけど、その場面のときにはそういう選択をしなかったの、経験則として上げるときには同時に審議してもらったほうがベターだなんていうのが今後の考え方としては一つしっかり注視したほうがいいのかなんて部分はあと思う。

○議員（斎藤 實君） それともう一つ言いますが、他所の議会の議員さんも八雲のこの町長に対する報酬の考え方、よくそうやって決めてくれたねって。我々も将来的に参考にしてみたいってそういう議会もやはり議長さんや委員長クラスの人たちは結構僕に聞いてきます。

○議長（千葉 隆君） 四町の交流会あったんですが、実は今金町で報酬を上げるんです。その部分は八雲町の前方式持って行って、それから議長さんとも結構どういうふうに上げたのかってことで2回くらい情報交換して上げてもらったり。

それで今渡島管内で停滞しているのが鹿部町の議長さんなんだけれども、本当は上げたかったんだけれどもって部分で選挙で今は 10 人立ったけれども、その前は欠員だったからその中でなかなか上げれないって言っていて、逆だっというのを話をしていたんですよね。報酬も上げないとそういう状況になるから、まず報酬上げることも議論してなり手不足を解消したほうがいいですって言って、そこまでは至ってないけれども、報酬を上げないとないって意識は出てきて議論はして今回 10 人で出ている状況があるんだよね。

それで八雲町が上げてからそれ以降結構すぐ上げたのは七飯町だけれども、ほかの自治体も上げてきているってことで、北海道が絶対的に腰低くて極端な地域になっているってことから上げることは上げるっていうんだけど、今局長が一番心配しているのは両漁協に今のある程度それぞれ別な案でもいいから財政支援とかって案を出してくれって言うてるんだけど、なかなか●●だけれども、一方なかなかできない状況もあって、そして今年の状況がまだ定かではないので、ダブルパンチしたときにどの程度どういうふうに支援しないとならないかって部分もわからない。

なので、その2年連続してきたら相当な状況になるんじゃないかって部分のときにこちらが上がるって状況がいかかってことではなくて財政的にどうかなって部分が出てくる。上げる上げないは皆さんの意思だから。それを結局、議会報告会5月頃にやるよね、報告会やるときに●●も悪いって言ったときに、財政状況悪化するんじゃないかって言ったときに、どの程度悪化するかってこと

を議会でちょっと説明できない状況もあるので、その上げるタイミングの難しさ。上げることはいいんだけどもタイミングね。説明の難しさはあるのかなって。

だから極端な話、今1年ってことだけでも、11月から半年なら来年の5月なら5月でも。なんでもいいんだわ。その頃になったらもう一回端数を1年ごとにする部分を半年なら半年とか7か月にしてもいいし、それを端数を今度延ばして1年ごとのやつを1年何か月とかにして判断するのもできるし、その時点で上げることもできることも考えられるし。

だからすぐに11月から上げる案と、少し様子を見る、様子を見るけれども様子を見るのを何月頃まで様子を見るのかって。のか、今どちらかの状況で今今年の浜の状況を見ながらどちらかで考えますっていうふうに町民の皆さんに説明するのかのやり方もあるし。

○議員（佐藤智子君） いい。

○議長（千葉 隆君） はい。

○議員（佐藤智子君） 今日どこまで話しするつもりなのか、議運でこういう結果が出ましたっていうので、それで議会報告会にこれから書いて町民の意見も聞いて、それで6月もあるけれども9月へ向かっていくから、今日そんなに詰めて話をしなくていいんじゃないの。

○議長（千葉 隆君） だからもう決まってるからそれでいくのはいいんだけども、それでいいかどうかだけは話をしたい。もう議運で大多數的に改正して11月からすぐ上げますよってことは決まってるんだけども、財政状況の不安定さも含めて説明できない部分があるので、少し考えたほうがいいのか、議運で決まったとおりにしていくのがいいのかって部分だけは決めないと、なかなか今日すぐに決めなくてもいいっていても、だいたい改正するって方向は決まってるから。

そしたら、逆にもう一回議運で少しその辺議会報告会まで時間があるからもう一回再協議する方向がいいのか、議運で決まったことでそのままいくのがいいのか、どちらかにしますか。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） はい。

○議員（大久保健一君） とりあえず議運の中である程度議論はされているので、まず議運でもう一回議論するにしても議運以外の構成の人たちの意見も聞いておいたほうがいいんじゃないの。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（千葉 隆君） 関口さん。

○議員（関口正博君） 議会報告会、議会報告会っていうけれども、我々がぶれていたら町民の方々が困りますよね。我々こういう方針で行きますってことは議運で決めた以上はしっかりと意思統一したほうが僕は上げますってやっちゃったほうが逆に辛いものはあるんじゃないかって気はしますがね。

浜のこと浜のことって盛んに、もちろん心配されることではありますが、もちろん状況は刻一刻と変わっていくでしょうが、おそらく来年度に関してはそれなりに水揚げは確保される感じになってくる。ただ再来年の水揚げから相当に水揚げが減っていくってことは予想されているので、当然町も税収が減ってくるって部分ではある程度情勢を見ながらっているのはそれはそのとおりだし、ただし決めた以上はちゃんと上げますってことをしっかりと議会報告会の中で問かけるより僕はそれ報告ってかたちをとったほうがいいんじゃないかって気はします。

だって、絶対に町民に言ったところでなによそれっていわれるのは目に見えている。議会が断固とした思いの中で報告するほうが逆にいいのかなって気が僕はしますがどうでしょうかね。

○議員（倉地清子君） ちょっといいですか。

○議長（千葉 隆君） どうぞ。

○議員（倉地清子君） 議運で決まったって報告を先ほど受けて、三番のやつがってことですよ。私もそれそのままいいと思ってるんですけども、ちょっともう一回確認させてもらっていいですか。改定を一回上げるけれども、そのすぐにするから今の現状のままですって改定するけれども改定の改定をするってことですよ。

○議員（三澤公雄君） ②はね。

○議員（大久保健一君） 二番がそう。

○議員（三澤公雄君） だから基準額が今のじゃなくて、基準額を上げてしまう。

○議員（倉地清子君） だから議員なら2万7千円プラス現行額。

○議長（千葉 隆君） だから今のままでいくってこと。

○議員（倉地清子君） わかりました。

○議員（関口正博君） ぶれないほうがいいんじゃないですか。

○議員（斎藤 實君） 私も議運じゃないので、まあ極端かもしれませんがなんでこんなに議員報酬を町民に毎度説明しないとしないのかなって。僕その辺がどうも納得いかないんですよ。やはり全道に先駆けてこれだけのことをきちんと決めました。報酬審議委員会にもかけて了解いただいたと。

そしたら、そのまま実施していったらいいんじゃないですか。そしたら税収がちょっと調子悪かったらそのときは下げましょうと。こういうことをきちんとルール守っていかないと、いつまでたっても変わらない。

○議長（千葉 隆君） 議会の最高規範、議会基本条例の中で、自分たちが決めた条例の中に議員報酬上げるときには町民に報告するっていうふうに我々が作ったルールなので、そのルールを守るといって今手続きを進めようとしていました。

○議員（斎藤 實君） だからそういうルールがあるのであれば、町長が上げた時点でなぜ議運でそういう判断にならなかったのかなってというのが僕は非常に残念に思う。だから町長に対してどうだったってことでやったわけだから、それを結局守らなかった議会のほうがいかなものなのかなって。悪いですが僕はそういうふうに受け止めるんですよ。

○議長（千葉 隆君） 町長のほうは町民に報告する義務がないから、そこはないんだけど、当然そのときにも上げるときにはこの議論はしないとならないよって部分で項目には上げたんだわ。ただいろんなことが重なってサーモンのことやいろんなことがあって、逆に言ったら先に手を付けてこなかったっていうか、議運で。これやるにも時間がかかるから、ちょっと●●だけれども、先にやらないとないこともあったのかなって。

だから、議運のときには項目にあげてくださいってことはお願いして、あがっていたことは事実。そういうことも含めても状況的には。

○議員（斎藤 實君） だからこれからもめまぐるしい世の中になるからいろんな国の制度の代わり映えもあると思うんです。ですからそのときに一喜一憂してだったら議員報酬の関係は大変だと思う。これまでどおり上げます、下げます、町民の皆さんお願いしますって、この繰り返しをずっとやらないのいいんじゃないのかなって。僕はそこのところだけです。あとは議運の皆さんにお願いします。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○議員（三澤公雄君） いろんなことが議運に任される、議論のベースを作るうえで。この報酬の関係で今日いろんな意見が出た中で、一つ確認していこうと思うのは議長も先ほど触れましたが、町長が報酬上がるときに、諮問委員会にかけるときに原価方式があるので、議員の報酬上げることも一緒に審議してもらおう。これセットにしたらさ、こういうタイムラグが生まれなくて議論がしやすくなるので、この次からこれでいきましょうって今日合意できたら議運も一つ肩の荷が下りるのかなと。

一方で、議会報告会にどういのかたちで報告するのかっていうのがちょっと宿題にはなりますが、これはまずは報酬を上げるってことで進んでいく。そしてそのことを説明したときにいろんなことを言われる。言われたことをもって反省会でどうとるかって、そういうふうにして最初からいろんなボールを用意してその都度説明を変えるような、そんなぶれることはしないで上げるってことをこの間議運でも決めたので、報告する内容もそれ一本で皆さん同館がるかって町民の意見を持って帰って報告会の反省の中でどう考えようかという時間的な余裕は5月や6月の、もしくは7月の議会報告会をやったとしてもできるんじゃないかと思うんですけども、そういう整理の仕方で行きましょうか。

○議員（関口正博君） 前回の議員報酬は定数削減があったから意外と受け入れやすかったという部分があると思いますが、定数削減についての議論はどうなってるんですか。別に議運の中では出てないんですか。

○議員（三澤公雄君） これは僕の受け止め方だけれども、前回の14人は議論する上でぎりぎりってイメージでとっていた議員も。そういう前提でお話をしたと僕は覚えているので、あえてこっから余計な言葉をもらう余地は出す必要はないのかなと。

逆に14人で委員会を二つまで少なくして議論していく、そのほかにもいろんな委員会に役を付けたときに、14人が実はギリギリですと。幸か不幸か人口も1万4千人って計算しやすいかたちになっているし。

○議員（関口正博君） 議員報酬は来期からってことだけれども、議員定数は常に議論していきながら、当然人口と動態っていうのはわかるけれども、近い将来1万人になるって、2040年はわりかし私たちは4年ごとだから、どうしてもね。

じゃあ、この次はあれだけれども4年後どうなっているのかはちゃんと考えながら議論はちゃんとしていくべきで、今1万4千人で1千人に一人だから14人って根拠はそうだけれども、常にそういうことは我々は議論していくべきだと思うんだけど、それで当然我々の立場の話ですので、ちゃんとした議論をするんだっていうのは必要なことなのかなっていうふうに僕は思う。ちゃんと将来を見越して来期ではなくてその次からはそういうような検討もしてまいりますって。

それで、やっぱりしていくことも当然大事だしとは思いますが、どうでしょうか。

○議員（三澤公雄君） その議論って言うなら逆に定数について議会内で議論するってことがまず先にやるべきだと思う。

○議員（関口正博君） もちろん。

○議員（三澤公雄君） 僕、関口さんのボールを受け取った考えの中では議会報告会の議論と思ったので、それはまだいらななと。議員内での定数の話がどういふふうにするかはいつでも皆さんで考える必要はあるかなと思っています。

○議員（関口正博君） 常にテーブルの上には乗っていてほしい。定数の問題はちゃんとシビアに我々も考えるべきだと思うんです。そこは是非お願いしたいところです。

○議員（斎藤 實君） ただ日ごろ考えてほしいのは、八雲の予算的に考えたら合わせて300億になっています。僕もこの度病院勉強会やいろいろな勉強はするんだけど、なかなかやっぱり病院を改善する専門的な知識がないから数字的には見て人件費これもうちちょっと削減できないのかなって思いながら、しかし病院側に立つと一つのルールの中でやってるといわれたら入っていけないんだよね。

だから、僕は議員さんの定数が少なくする場面で、ある程度みても10人にして一般会計が50億くらいで、そして特別会計でも70億80億の関係であればある程度良いんですけども、300億の予算これからやはり審議していくとなればそれなり的人数やはりいるし勉強もしてもらわないから、報酬も上げるべきだし、ある程度的人数は僕は必要かなって感じがするんですけどもね。これはこれからの中で話いろいろ出てくると思うけれども。その辺のところも各議員さんも考えてみてください。すみません、余分な話をして。

○議長（千葉 隆君） そういうことも含めて現行どおり、議運に提案されたとおり進めて、そして町民の意見を聞いたうえで最終的な部分については9月の定例会で提案するっていうことでよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） そういうことでお願いします。

（2）八雲町議会議員のなり手養成講座開講について、お手元に配布しております一枚物の、今回初めて開催するというので日程を決めてしまっております。このことについて議運の委員長さんのほうに。事務局から説明をお願いします。

○議会事務局長（野口義人君） 議長、局長。

○議長（千葉 隆君） 局長。

○議会事務局長（野口義人君） 皆さんからコピーのとおりです。皆さんの議会報告会の反省会の中で、こういうものが必要ではないかというものが意見等々で出ておりましたので、それをくみ取った中で今回の選挙には間に合わないかもしれませんが、次世代を担う議員さんを発掘するという理由の中で講座を開講したいということでございます。

それで対象者があくまでも町内在住で18歳以上の方ということで、実際に選挙に出れるのは25歳以上ってことなので、本当に若手の中から発掘しながら将来の議員さんを育てていきたいと思います。

今回出る方は出る方について中身をきちんと確認したいということであれば全然今回から出ただけでも結構です。3回の講座を予定しておりますが、これ全部が全部じゃなくても一回だけでも二回だけでも構わないと思います。毎月文教厚生常任委員会の夜ってことでここを会場にした中で議員さんの役割だとか議会の概要を含めて、あと選挙の知識、選挙制度、最終的には議員さんとの意見交換で本会議場で議会ということで企画しております。

これ全て事務局が主催すると議員さんの動きが見えないということになりますので、今回3回に分かれておりますが、主は議員さんの皆様が講師として3人4人の参加した中で講座を完結していただきたいと狙いでございます。

それで実際にQRコードはいきておりますので、最終的に携帯電話で見ただけなら入り込めます。今回チラシとかたちではなくて、LINEでの周知、もしくはホームページの周知ということでデジタルに馴染むような人をできたら発掘したいという狙いですので、ご理解のほうをよろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 議会広報には載せるんでしょ。

○議会事務局長（野口義人君） 事後、5月号にやってますみたいなアナウンスはしたいと思っています。

○議長（千葉 隆君） 事前にはやらないの。

○議会事務局長（野口義人君） 事前の広報はもう間に合わないんです。

○議長（千葉 隆君） あと役割分担もどのようにするかっていうのは。

○議員（佐藤智子君） 町広報に載せたら。

○議会事務局長（野口義人君） 町広報に載せるってことだったらいいんですけども、逆に私はデジタルで書面から離れて逆にデジタルの世界の中で運用できる方を求めたいなと思っておりますので、紙ベースではなくてデジタルベースでと考えています。

○議員（倉地清子君） 公式LINEでは。

○議会事務局長（野口義人君） 公式LINEとホームページから入れるような仕組みです。

○議長（千葉 隆君） 役割分担については。

○議員（三澤公雄君） 役割分担についてはこれから議運や一番馴染み、広報の中でも話し合ったりするんですが、議運の中で一つ各議員に宿題とかせっかく勉強会を開くので、参加人数が少なかったりゼロだったら格好がつかないので、各議員一人連れて来いということで意識があるなし関わらず、是非興味をそそるようなことをささやいて各議員最低でも一人は連れてくるということでご協力お願いしたいと思います。

○議員（佐藤智子君） この色の狙いはこれでいいの。

○議員（関口正博君） 俺好き。

○議員（佐藤智子君） インパクトはあるけれども、派手。

○議長（千葉 隆君） それじゃあこの担当も含めて議運で協議するというこの理解でいいですか。

○議員（関口正博君） 一ついいですか。

○議長（千葉 隆君） はい。

○議員（関口正博君） すごくいいことだと思うんです。それでこの周知方法についてさっきからあれしていますが、やっぱり若い人に響かせるとなると、今インスタは避けて通れない。こういうのっていうのは議会においてこういうような講座やりますがつていうような周知ってできないものなんですか。

○議員（倉地清子君） 議会のアカウントを作ってってことですか。

○議員（関口正博君） 若い人を呼び込みたいなら今はそこだよね。そしたら結構不特定多数の人が来てしまう可能性もあるけれども、得体のしれない。

○議長（千葉 隆君） そういう意見も含めてどこでこれを進めるかっていうのを議運でやるのかどこでやるのかそこまで話はしてなかったよね。だから担当者を公募で、それこそインスタで議員の中から公募するのか。今やるのか。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○議員（倉地清子君） このそういうことも含めてアカウントの解説とかの議論とかも含めて、広報の中でその議論をさせてもらうってことはいいでしょうか。広報委員が今大久保委員長、関口副委員長、三澤さん、赤井さん、佐藤さんがいますが。

○議長（千葉 隆君） そういう提案がありましたが、広報中心にこの講座を進めるっていうか、担い手になってもらって、そこから頼まれた議員さんは指名された部分で協力するってイメージでいいですか。

○議員（大久保健一君） 一回目、二回目は広報で担当してもいいかなって。三回目は意見交換なので全議員でやるってかたちだけでも、講師も含めて一回目二回目は広報広聴委員会で担当させてもらえるならそのようにします。

○議長（千葉 隆君） 三回目も企画して全員で出てくださいとか、そういう。

○議員（大久保健一君） それはいい、

○議長（千葉 隆君） そういうイメージでいいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） そういうことで。

○議会事務局長（野口義人君） はい。

○議長（千葉 隆君） 事務局長。

○議会事務局長（野口義人君） 一つ募集期間が3月1日からになっているので、先行してLINEとホームページ、今日支局長が来ているので北海道新聞にもってことでその三点で進めてもよろしいですか。

○議員（三澤公雄君） 今週モニター会議もあるからインスタのこととか彼らに知恵を借りながら。

○議長（千葉 隆君） いずれにしても初めてのことなので、こういうことが町民のほうに見えないと議員報酬の関係にも関連してくるので、よろしく願いいたします。

それでは次に行きたいと思います。（3）令和7年度議会費についてを事務局のほうからお願いいたします。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議長、議事係長。

○議長（千葉 隆君） 係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） それでは令和7年度の議会費の予算についてご説明いたします。本日配布しております、令和7年度議会費予算について、という資料をご覧ください。

令和7年度の議会費の予算につきましては、資料最下段の合計欄に記載のとおり8,105万6千円となり、令和6年度当初予算額と比較し290万円の減額計上でございます。

主な増減理由ですが、まず、3節職員手当等につきましては、年間4.6月分に改定したことで、41万1千円の増額となっております。

次に、4節共済費ですが、議員共済会負担金の負担金率が変更になったことにより、96万8千円の減額となっております。

また8節旅費につきましては、広報広聴、議会運営委員会の視察にかかる費用の計上や、旅費の単価改定に伴う増額などがあるものの、総務経済常任委員会、文教厚生常任委員会の道外視察にかかる費用が減額となっていることから旅費全体として74万2千円の減額となっております。

その他の節につきましては、資料の主な増減理由の欄をご覧くださいと存じます。以上となります。よろしくお願いたします。

○議員（佐藤智子君） 質問。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） 報酬の令和7年度当初予算額の日割り分の議員報酬は今の報酬での計算ということですよ。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議事係長。

○議長（千葉 隆君） 議事係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 佐藤議員がおっしゃるとおり、令和7年度の当初予算として計上しております予算額について現行の報酬で予算計上してございます。増えた分については説明にあるとおり、改正に伴う日割り分を計上する必要があるため、その分だけが増額となっているところでございます。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 印刷製本費ですが、できれば毎回二色にしてほしいんですが、この金額は毎回二色の結果の金額ですか。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議事係長。

○議長（千葉 隆君） 議事係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 申し訳ありません、こちらについては二回に一回の二色刷りということで、様々な●●に関してぎりぎりの采配ということでご理解いただけたらと思います。

○議員（赤井睦美君） すみません。

○議長（千葉 隆君） はい。

○議員（赤井睦美君） 町財政も厳しいかもしれませんが、皆さんの町民の方が二色になって見やすいつてほめてくれたら、より良く見てもらうためには二色がいいなと思うので、どこかで頑張れたら頑張ってください。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議事係長。

○議長（千葉 隆君） 議事係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 今後の予算（聞き取り不能）令和8年の予算計上においても意見等伺いながら検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 18負担金交付金で全国市議会議長会基地協議会負担金の新規計上っておりますが、新規ってことは今までなかったってことですか。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議事係長。

○議長（千葉 隆君） 議事係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） こちらでございますが、今までは全国市議会議長会負担金については今まで自衛隊基地があることに伴って市町さんができるような議長会があったんですが、協議会があったんですが、今まで例年八雲町に参加をいただけないかってことでお願いと申しますか協議会からも依頼がありました、やはりですね、基地が存在している自治体としては様々な交付金の活用を考えたら交付金の活用、交付金の獲得って言い方もあれですが、加入がやっぱり財政難の中で相当メリットがあるのかなと判断してこれについては改めて予算計上し今後加入してまいりたいということで予算措置してございます。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） 令和6年度の当初予算額が同じところにあるってことは去年も計上されていたってこと。

○議長（千葉 隆君） 新規だから。だから6万1千円が新たに。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議事係長。

○議長（千葉 隆君） 議事係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 増えた部分がまさに今回の新しく加入するという（聞き取り不能）それ以外に渡島町村議会議長負担金がありまして、それは例年予算計上しております。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

あとこの間の名古屋市に行つて思ったんだけど、名古屋市の市議会での間は去年は一人であつたけども、何人かであつた。だから、来て実は大須の商店街との部分でも本当はちょっとこっちから辞めた部分があるんだけど、そのあとにあつちから来た部分で八雲町で断っている部分があるので、そういった議会交流も含めて再構築したほうが八雲町にとってはメリットがあるし、今まで困ったときだけ名古屋市に頼んでいる。実際は。

震災のときにも東北震災のときにも名古屋市の市職員の人たちがカンパしてくれて500なんぼもらったり、今回ももらったり、今回の学校給食でも99校名古屋市でやってくれたり、それで名古屋市とそれから小牧市の市長さんが愛知県で行ってくれて、愛知県が相当数やってくれてる。

やっぱりある程度来てくれているときに、うちのほうもただ表敬訪問に来たってことではなくて八雲町回るときに議会全体で交流するとか一緒にとかって感じにしていけないと、やっぱり途切れてしまう状況だったらまずいなと思うんだよね。そういうのも含めて原課のほうに来るって情報だとか出てきたり、市長のほうは町長たちがやると思うけれども、そういう部分で来たらちょっと対応をしていきたいと思うので、予算がそんなにかからない、●●になるかもしれないけれども、そういった部分で皆さんも意識してよろしく願いいたします。

○議員（三澤公雄君） 議長から今名古屋の話が出たけれども、僕も初めて名古屋に視察に行つて、名古屋市、小牧もそうだけれども、向こうのほうがもっと八雲さんと縁を深くしたいといわれた言葉がすごく印象に残ってるんですね。

僕たちは都会と交流つて言つたら東京や大阪を考えてしまうけれども、名古屋とせつかく歴史的につながりがあるのに、もっと深くやらないとたとえば小牧市との交流はあるけれども、あれも細々と続いているだけで、もっと域学連携や名古屋だとかもっと手を伸ばしてもいいだろうし、都会としてはそんな色ないところなのに、ちょっと名古屋、小牧だとかの中京地区に縁があるのに僕たちの

ほうが大事にしてこなかったなって痛感した旅でしたね。心を入れ替えようって思ったんですが、是非皆さんもこの機会に尾張名古屋を心にとめたほうがいいって感想を持ちました。

○議長（千葉 隆君） やっぱり歴史的にはＪＣの人たちが開拓してきたし、そこが強い。それで山車で行っても迎え入れてくれるのは小牧のＪＣの人たち中心に平成夏祭りに１年、５年、１０年に八雲も行ってるけれども、そこの平成の実行委員会の大多数がやっぱりＪＣ中心で、ＪＣと商工会とＪＡなんですね。だからやっぱりそこがだんだんどっちもまちづくりで参加してきた物産協会も山車行列もだんだん薄くなってきてるし、もう少しＪＣも少し薄くなっているんで、もう一回その辺強化していかないとならないなってことでお願いします。

あとなければいいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） （４）についてよろしくお願ひいたします。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 議事係長。

○議長（千葉 隆君） 議事係長。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） 八雲町議会の個人情報の保護に関する条例、八雲町議会の個人情報の保護に関する条例施行規程、及び八雲町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について説明いたします。

お手元の資料、条例及び規程の一部改正についてとございます資料をご覧ください。

この度の改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、および、刑法の一部の改正に係る法律の公布・施行に伴い、関連する条例の一部を改正しようとするものでございます。

改正する箇所は条文中に下線を引いている箇所であり、改正内容につきましては、法改正に伴う文言整理と条文のずれを整理するものとなっております、その改正箇所ごとの説明につきましては、おそれいりますが、割愛させていただきます。

誠に雑ぱくではございますが、何卒よろしくお願ひいたします。

○議長（千葉 隆君） それでは今の条例及び既定の一部改正について、質問はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） なければこれはこれでよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ５その他ですが、前回の議運のときに、各会派にお知らせするという事で各会派にはお伝えはして、全協のほうで手続きとらないとないので、２月の２５日９時から全員協議会を秘密会で行いたいということで皆さんのご了承をとりたいとおもいます。

この内容については各会派代表者から皆さんにお話されていると思いますが、総務常任委員会で今まで視察するってことになっておりました、バイオマスの関係で一旦ちょっと時期を延期していましたが、その辺の実情を含めて、なぜ延期してきているのか、それから今の現状。

それから今後の展望を含めて大変八雲町の一次産業について大きな影響を受けることがございましたので、私と副議長で原課の課と協議をして今までの部分しっかりと議員さんのほうに洗いざらい説明をして皆さんからの疑問や予定するような質問とかそういうことを真摯に受けるってかたちでご理解を得る状況を作りたいということで、今回秘密会を開催することとなりましたので、そのことについて皆さんのほうから意義はございませんか。

特になければ秘密会ってことで2月25日9時から秘密会で開催いたしますので、秘密会ですので、何時何分にやるってことも秘密会ってことですので、秘密会をやること自体が秘密会という認識をしっかりと持って確認したいと思いますので、よろしく願いいたします。忘れたら一任してもらったということで。

○議長（千葉 隆君） そのほか皆さんのほうから何かございませんか。なければこれで終了いたします。ありがとうございます。

〔閉会 午前 11時34分〕